

航空機内陸飛行騒音調査について

1 調査概要

大田区の内陸部を飛行する航空機の騒音、騒音発生回数、運行状況、飛行高度を把握する為、一週間連続の短期測定により内陸飛行騒音調査を行った。

2 調査場所

- (1) 石川町文化センター
石川町一丁目3番8号
- (2) 雪谷中学校
南雪谷五丁目1番1号
- (3) 馬込区民センター
南馬込四丁目6番5号
- (4) 矢口小学校
多摩川一丁目18番22号
- (5) 萩中公園水泳場
萩中三丁目26番46号



3 調査期間

令和4年11月1日～11月8日

4 調査結果

(1) 内陸飛行を行った航空機の騒音

測定地点	Lden [dB]	WECPNL	最大値 [dB]	最小値 [dB]	測定回数				測定 総数	測定 日数
					0～7 時[回]	7～19 時[回]	19～22 時[回]	22～0 時[回]		
石川町文化センター	27.2	38.8	62.0	51.6	1	32	6	0	39	7
雪谷中学校	30.0	39.1	61.6	49.7	0	37	9	0	46	7
馬込区民センター	30.2	38.7	61.9	50.0	1	28	11	0	40	7
矢口小学校	33.5	42.3	64.4	52.6	2	42	7	0	51	7
萩中公園水泳場	36.3	46.0	65.1	53.8	9	37	12	0	58	7

(2) 経年変化

過去10年の同調査を対象として、調査期間中に北風運用による内陸飛行を行った3日間のデータを集計し、 L_{den} 値を算出した。

航空機の欠航・減便の影響を受けた令和2～3年度と比較すると、矢口小学校以外の各測定局で L_{den} 値が上昇する結果となったが、過去10年の傾向から大きな変化は認められなかった。

(3) 内陸飛行における航空機の高度分布

例年と同様、調査期間内に内陸飛行を行ったすべての航空機が、矢口小学校（航空標識 KAMAT 近傍）において9,000 フィート（約2,750m）以上で飛行していた。